

JPNIC通信

新事務所移転あれこれ

今回は事務所移転に関連するJPNICについての話題をお届けします。



▼ JPNIC事務所移転

JPNICの事務所が移転し、この2月9日から新事務所での業務が開始されました。移転作業に伴い登録業務など一部の業務が休止になり、ご不便をおかけしました。新事務所は東京神田の地下鉄小川町および淡路町駅近くのビルの3階で、旧事務所からは徒歩15分ほどの所にあります。職員の増加に備えて旧オフィスの2.5倍の広さが確保されています。なおJPNICのオフィスは全面禁煙で、今回は喫煙ルームが用意されています。

▼ JPNICのサーバー

事務所の移転作業中は事務所内にあるサーバーなどは使用できなかったわけですが、その間もJPNICのウェブページやWHOISデータベースの検索サービスは利用可能でした。これは、それらのサーバーが安定運用とセキュリティのためにKDD大手町ビル内のハウジングサービスに置かれているからです。JPNICのサーバーは同じビル内にあるNSPIX P2と100Mbpsのネットワークで接続されています。

JPNIC事務所との間は1.5Mbpsの専用回線で結ばれています。さらに耐障害性を高めるための負荷分散機構の導入やセキュリティ対策の強化など、サーバーとネットワークの構成変更を現在検討しています。

▼ JPNICの職員と組織

新事務所働くフルタイムの職員は現在11名です【①】。ほかにアルバイトや派遣のスタッフが4、5名います。事務局の仕事の内容は大きく分けて、事務局運営にかかわるもの、登録等業務にかかわるもの、JPNICの方針策定等の作業にかかわるもの、となります。なお、私も含めてこのJPNIC通信を執筆している人たちはJPNICの職員ではありません。

たとえば私はJPNIC運営委員の肩書きでこれを書いているのですが、本業はネットワーク関連業種の会社の社員です。運営委員会はJPNICの実質的な運営方針を決定する場ですが、その委員はJPNIC会員のISPや関連する団体の所属で、企業でインターネットに関わる仕事をしている方や大学教官などの研究者からなっています。また、運営委員会のもとで具体的な検討作業を行う各部会は運営委員を長に外部の協力メンバーと事務局スタッフが加わって構成されています。事務局のサポートを得て運営委員や部会スタッフで検討を行い、その決定にのっとって事務局が業務を行うというのがJPNICの仕事の基本的な手順です。

新事務所になって会議室が広くなりましたので、毎月1回の運営委員会もそこで開かれることになりました【②】。事前に申し込みば運営委員会はどなたでも傍聴することができますので、関心のある方はご検討ください。

▼ JPNIC通信について

このJPNIC通信【③】も20回を超えて連載が続いていますが、そのバックナンバーは編集部のご好意により、JPNICのWWWサーバー上でPDFファイルですべて公開していますのでご活用ください。

参考資料

- 【①】人材募集について
<http://www.nic.ad.jp/recruit/index.html>
- 【②】会議スケジュール
<http://www.nic.ad.jp/schedule/index.html>
- 【③】JPNIC通信
<http://www.nic.ad.jp/jpnic/pub/magazine.html>



新しいJPNIC事務所の受付

JPNICダイジェスト

JPNICで公開する文書を告知いたします。

公開日	タイトル	URL
1998/1/20	JPNIC事務所移転のお知らせ	http://www.nic.ad.jp/topics/archive/1998012001.html
1998/1/20	JPNIC事務所移転に伴う一部業務の休止について	http://www.nic.ad.jp/topics/archive/1998012002.html
1998/1/20	JPNICデータベースの利用について	http://www.nic.ad.jp/topics/archive/1998012003.html
1998/1/26	IP Meeting (Internet Week '97) 資料公開	http://www.nic.ad.jp/iw97/documents.html